小さな親切 春号

CONTENTS
Spring 2020 ● No.518

② 気になるを調査
●東京に現れた町のヒーローは〝ベビーカーおろすんジャー〟
●できる親切 身近な親切

⑥ 令和2年事業スタート
こんなときだからこそ「小さな親切」を！

⑧ 祝20周年 まほろばの里「高畠」が現代に紡ぐ心
山形県 高畠「小さな親切」の会

⑨ 伝えよう、日本の心プロジェクト
あいさつ運動活動報告

⑩ 「作文コンクール」入賞・入選作品に見る
昭和と平成の風景

⑫ 自分たちの住む街・働く街を美しく
愛媛県立大洲高等学校／株式会社ヤマト屋

⑬ コラム「これってどうなの?」／のんちゃんのおすすめ紹介

⑭ Information & HIROBA

表紙写真
❶：たくさんの花が咲きました（千葉県御宿支部より）
❷：「泣いた赤鬼」作者の浜田広介記念館（山形県高畠町）
❸：今年はお花見禁止でした（東京都新宿区）
❹：東京・方南町の人気者〝ベビーカーおろすんジャー〟
❺：「わかば保育園」で「小さな親切」実行章贈呈式（秋田県鹿角市）

「小さな親切」誌は、季刊発行
春号・5月、夏号・8月、秋号・11月、新春号・1月の予定です

2020年5月1日発行 通巻518号
編集・発行人 鈴木恒夫
発 行 所 公益社団法人「小さな親切」運動本部
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-20-4
TEL.03-3263-2866 FAX.03-3263-3838
https://www.kindness.jp/
印 刷 所 広研印刷株式会社

© 無断転載禁止 落丁、乱丁はおとりかえいたします。

デザイン・DTP 有限会社リトルフット
イ ラ ス ト P11.P15：清水 稔／P13：安彦麻理絵

恒さんが行く！

春には青いめじろ追い 秋には赤いとんぼとり

代表 鈴木恒夫

来年2021年の2月に傘寿（80才）を迎える私。前号に続いて、今回もまたトシ（老齢）にかかわることを書いて申し訳ございませんが、お許しください。

若い頃からクラシックを初め、音楽を趣味の一つにしていた私は、歌謡曲部門では昭和歌謡中期の歌が大好き。いよいよスピードを増す文化の変化の中で、時代遅れの度合いも深まっていくという自覚症状も、あるにはあるのですが……。

つい先日のある深夜。目が覚めてラジオのスイッチを押すと、同世代の方なら誰もがご存知と思う歌が流れてきました。

『春には柿の花が咲き 秋には柿の実が熟れる』石本美由起（みゆき）作詞、船村徹作曲の『柿の木坂の家』。

私が生まれ育った、太平洋戦争の開戦から終戦後しばらくの間の横浜の北部一帯は、昔ながらの純農村地帯。私の生家の裏山のすそ野には、鈴木姓7家系の代々の墓が並ぶ内墓（うちばか）があり、それを取り囲むように3～4本の柿の大木が繁っていました。その風景が、この歌を聴くたびに、「子供の頃、柿の木によじ登って実をとり、枝にへばりついて食べたなァ…」と、胸に蘇ってくるのです。

作詞された石本先生とは個人的に親しくしていただいていたこともあり、いつもお顔が浮かびます。お生まれになったのは、広島県の大竹ですが、成年後のお住まいは横浜港がまるまる見える横浜駅に近い丘。かつて私が通学した高等学校の近く。ご縁をいただいてからは、私の衆議院議員選挙区でもあり、応援に熱弁をふるってくださったこともありました。ご自宅で病にふせっておられたときに、お見舞いにあがった私の手を、ベッドの上できつく握ってくださったのが忘れられません。

お亡くなりになった後は、ご子息がお住まいになられ、近くに事務所を構えてご尊父の偉業のフォローをされておられます。つい先ごろお会いして昔話をさせていただいた数日後、一冊の本を贈ってくださいました。「昭和歌謡抄（下巻）」。元文部官僚で、かつて愛媛県知事をされた加戸守行（かとももり ゆき）氏は、歌謡曲の世界を知り尽くした粋人としても有名で、石本先生の「柿の木坂の家」の作詞には、生まれ育った広島にはなかった〝馬の市〟や〝機織り〟を書いたことに関連して、石本先生はこう語っておられます。

「大衆が歌う場合は、歌は全ての方々のものにならなくてはいけないと思ったのです。歌う方々一人ひとりが、その故郷を連想しながら歌える歌、つまり、その人々の故郷の歌になることが狙いだったのです」。

「柿の木坂の家」の2番、『春には青いめじろ追い、秋には赤いとんぼとり』の詞。

石本先生、人には誰にも〝ふるさと〟がありますね。めじろ、赤とんぼ…。物心がついた頃の私の思い出の風景。本当にありがとうございます。